

高電流出力型絶縁信号変換器

MS770

取扱説明書

文書番号：MJ-A4031

Rev. 1.0 1998年09月25日

この度は、MTT製品をご採用いただき、誠に有難うございます。

現品をお受け取りになりましたら、まず、本機の仕様がご注文通りのものであることを、現品の表示ラベルの記載でご確認下さい。万一、仕様の誤りや、輸送上、その他の原因による損傷などが発見された場合には、速やかに、弊社営業所またはお買い求め先にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

弊社製品はすべて、厳格な品質管理基準に基づいて製造されておりますので、ご安心の上、お使いいただけるものと存じます。

記

◆保証期間と保証範囲

〔保証期間〕

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後3ヶ年といたします。

〔保証範囲〕

上記保証期間中に弊社の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を弊社の責任において行います。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適切な取扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 弊社以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害などで、弊社の責にあらざる場合。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

※万一不良品が発生した場合は無償で修理致します。なお不良箇所につきましては、解析の上ご報告致します。

1. はじめに

この取扱説明書は、エムティティ株式会社（以下MTT）の高電流出力型絶縁信号変換器「MS770」の操作方法を説明するものです。

2. 製品概要

MS770は、最大負荷電流±300mAまで可能な高電流出力型絶縁信号変換器です。ユニットはスチールケースに収納され、ラック取付と壁取付が可能です。内部回路の入力—出力—電源—FG各間は、トランスにより絶縁されています。

3. 接続の方法

3-1. 入力の接続

入力信号線の接続は変換器前面端子台のネジ端子に対して行います。端子配列については、「3-5. 入出力配線、及び電源の接続図」をご参照下さい。

3-2. 出力の接続

出力信号線の接続は変換器前面端子台のネジ端子に対して行います。端子配列については、「3-5. 入出力配線、及び電源の接続図」をご参照下さい。

3-3. センスの接続

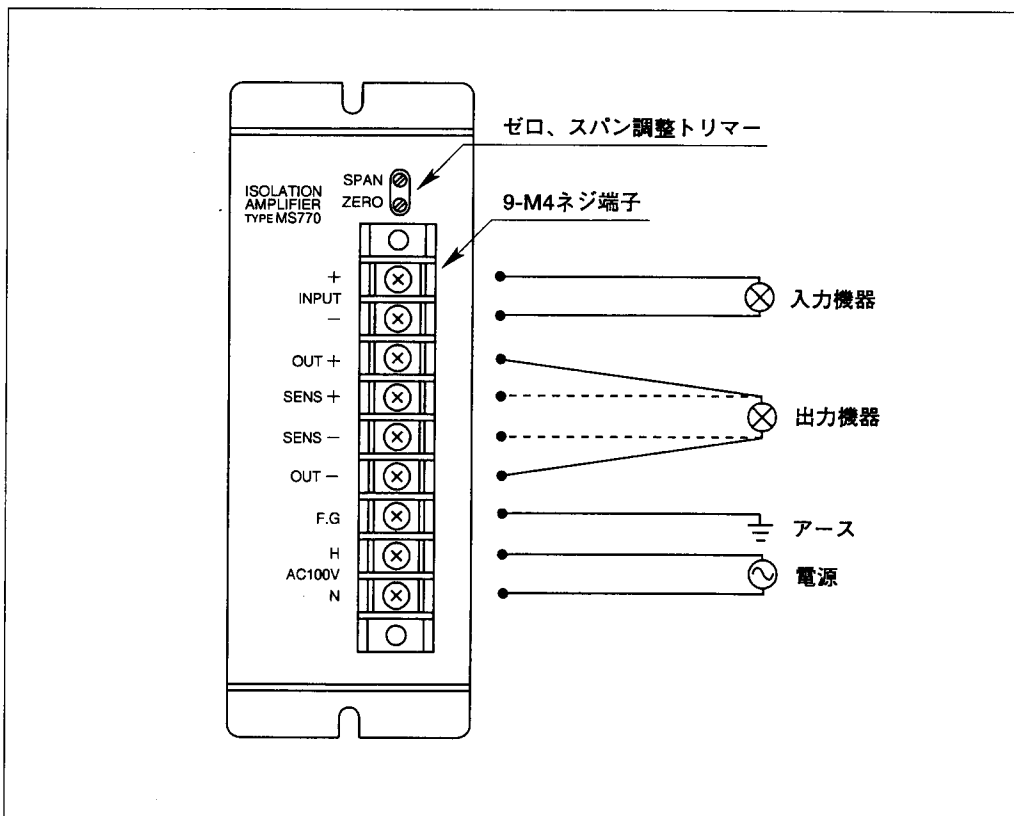
センス信号線の接続は変換器前面端子台のネジ端子に対して行います。端子配列については、「3-5. 入出力配線、及び電源の接続図」をご参照下さい。

※センス信号とは、出力配線抵抗による電圧降下をキャンセルする為のものです。配線距離が長い場合は、4線式での接続を推奨します。

3-4. 電源の接続

MS770は駆動電源としてAC100Vを必要とします。外部供給電源は変換器前面端子台のネジ端子に対して行います。端子配列については、「3-5. 入出力配線、及び電源の接続図」をご参照下さい。

3-5. 入出力配線、及び電源の接続図

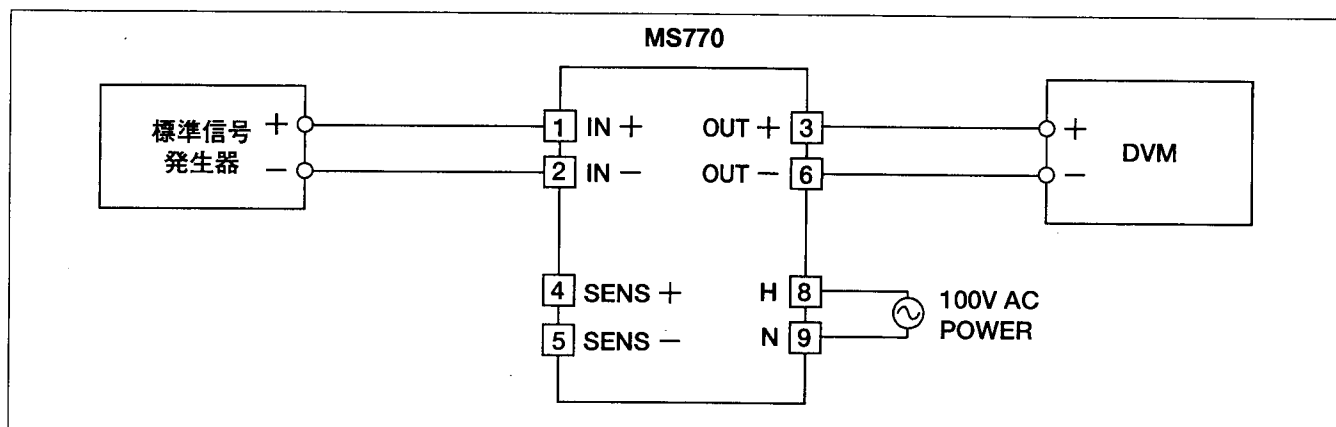


4. 校正の方法

- MS770は、予め、弊社工場で精密に調整されておりますので改めて校正を行う必要はありません。
- 校正は熟練を要する作業です。校正が必要な場合は、なるべく弊社の再校正 サービスをお受けください。費用等につきましては、弊社営業担当者にご相談下さい。

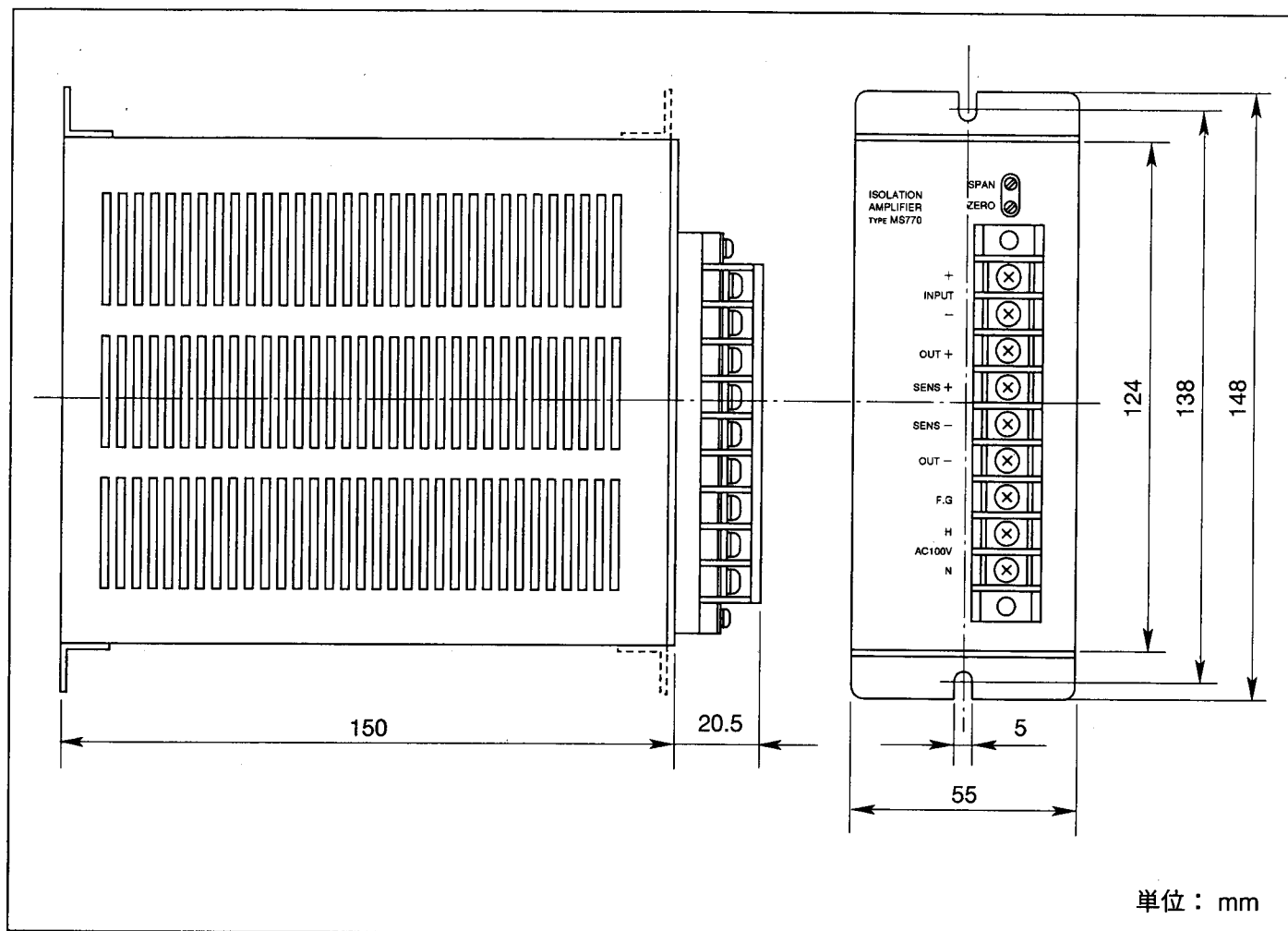
4-1. MS770に対する各機器の接続

- ① 下図に従い各機器を接続してください。
(接続の作業は、全ての機器の電源をOFFにして行ってください。また、各機器の接続はMS770の前面端子台に対して行います。)



- ② 上図の状態では各機器に電源を投入し、その後最低30分間のウォーミング・アップを行ってください。このウォーミング・アップが不十分だと正確な校正ができません。
- ③ 信号発生器の出力を入力レンジ0%相当の出力信号に設定してください。
- ④ 上記③の状態ではMS770本体前面にあるゼロ・トリマ（左側にZEROと印字してある方）をゆっくりと回転させ、MS770の出力が0%となるように調整してください。
- ⑤ 信号発生器の出力を入力レンジ100%相当の出力信号に設定してください。
- ⑥ 上記⑤の状態ではMS770本体前面にあるスパン・トリマ（左側にSPANと印字してある方）をゆっくりと回転させ、MS770の出力が100%となるように調整してください。
- ⑦ 上記③～⑥を数回繰り返して、ゼロ、スパンとも完全に調整してください。
- ⑧ 信号発生器の出力を入力レンジの25%、50%、75%相当の出力信号に順次調整し、各々の出力値を記録して直線性の確認を行ってください。

6. 外形寸法図



6. 使用上のご注意

- ① 本機の設置は、ホコリ、金属粉、水分、腐蝕性ガス、振動等の存在しない場所に行ってください。
- ② 電源、入力信号、出力信号の配線は、ノイズ源や、リレー駆動、高周波ラインの近くには行わないで下さい。
- ③ 本機による計測に先立って、念の為、約30分間のウォーミングアップを行ってください。